

ユタカ工作 株式会社

ものづくり技術

ベルトコンベア設備のプロフェッショナル企業 「ベルト巻取車」の開発を進め、顧客利益にも貢献

事業内容

ベルトコンベア関連業務に強み 協力会社をまとめあげる

1945年(昭和20年)、住友金属工業(現新日鐵住金)和歌山製鉄所にて貨物自動車修理を主体に創業して以来、70年あまりの業歴を有する和歌山製鉄所内の主力構内業者である。

主力の工事部門は、上工程における機械器具設置・補修を古くから手掛けており、主力得意先である新日鐵住金から長年にわたって厚い信頼を得ている。特にベルトコンベアに関する業務では構内でほぼ100%のシェアを有するほか、高炉をはじめ、上工程全般に広くシェアを持って

る。構内では、7社(120名)の協力会社を監督する立場でもあり、的確な指示を出しながらコンベア設備の修理に素早く対応している。

近年は、ベルトコンベアの設計・製作・据付に関する業務がとりわけ多く、補修工事を含めれば1日平均25件をこなしている。ベルトとベルトを結びつけるベルトエンドレス施工会社も協力会社として迎え入れ、コンベア設備の関連業務にますます磨きがかかっている。

補助事業

安全性と効率性を追求し 「ベルト巻取車」を開発・製造

構内では、総延長約70kmものベルトコンベアが連日休まず稼働し、各工場へ原料を運んでいる。ベルトコンベアには大小様々なものがあり、運ぶ原料の種類によってベルトコンベアの劣化具合は異なり、劣化具合に応じてベルトの迅速かつ安全な取り替えが求められる。

これまで取り替え後の古ベルト処理は人力で行っており、多大な労力がかかっていた。作業員に危険が伴うのももちろんのこと、多くの作業時間を要していた。そこで、ベルト取り替えと古ベルト処理の安全性と効率性を求め、同社では5年ほど前から「ベルト巻取車」の試作開発を進めてきた。

ベルト巻取車の導入は、安全性と効率性が高まるだけでなく、古ベルトの再利用にもつながる。機械で古ベルトをき

れいに巻き取ることによって、これまで廃棄処分していた古ベルトが別ラインで利用でき、また海外に販売することも可能となる。これらメリットを追求すべく、今回の補助事業では3台目の「ベルト巻取車」の製造を行った。



ユタカ工作 株式会社

代表取締役 豊田 英三
〒640-8404 和歌山市湊1850
TEL: 073-455-0385 FAX: 073-455-1690
URL: <http://www.yutakakousaku.co.jp/>

(業種)機械器具設置工事業
(設立)1945年12月
(資本金)20,000千円
(従業員)26人

成果

顧客利益に貢献 新日鐵住金JK活動で優秀賞を受賞

ベルト巻取車の製作を進めていくにあたり、車載用ベルト巻取装置を自主開発し、動力源をトラックから確保するなどの工夫を凝らしたベルト巻取車を作り上げた。試作品を含めると3台目ということもあり、以前よりは計画通りに進んだ。

成果としては、安全性・効率性が高まったことが第一に挙げられる。利益面では、従来は古ベルトの廃棄処分に年間で数千万円の費用が必要だったのが、別ラインでの再利用、海外リサイクル販売が可能となったことで利益を創出することが可能となり、顧客利益にも貢献できている。

また、新日鐵住金が開催する業務改善自主管理活動(JK活動)に協力会社として参加し、優秀賞を受賞することも

できた。協力会社として参加する企業が少ない中での受賞は新日鐵住金内での存在感を高めるきっかけにもなったようだ。



今後の展開

新しい販路構築には課題 構内業者としての存在感を高める

今後は、今回開発した「ベルト巻取車」を和歌山製鉄所の構内だけでなく、他製鉄所でも利用してもらいたいと考えている。現状では、他製鉄所は巻き取るコンベアが和歌山製鉄所のものよりも大きく、現在同社が保有する「ベルト巻取車」では対応が難しい。実際に「ベルト巻取車」の導入が決まったとしても、製品の補償ができない点もネックとなっており、販売にこぎつけるにはいくつかの壁を乗り越えなければならない。

「ベルト巻取車」の販売については、時間をかけて模索していくことになるが、今回の「ベルト巻取車」の開発によ

って和歌山製鉄所の構内での存在感をさらに高めることはできている。ベルトコンベアというニッチな分野でも創意工夫によって利益を創出することを示すことができた。

ただ、企業として今回のような取り組みを継続して行っていくためには人材育成は欠かせない。土日・祝日関わらず、修理に駆けつけなければならない仕事は若者に人気がないのも事実であり、今後は働き方(シフト)に変更を加えることで人材の獲得を目指す。ベルトコンベア設備のプロフェッショナル企業として進化を続ける同社に、惹きつけられる学生が増えていくことだろう。

